

令和4年度 第2回 取手市男女共同参画審議会 議事録

1. 開催日時：令和4年9月22日（木）午後1時30分～午後2時00分

2. 開催場所：取手市役所 議会棟 第三委員会室

3. 出席者：

委員：青木照江、岡田弘文、賀曾利清、櫻井由子、志村俊晴、下園敦子、
間宮真知子（敬称略：五十音順）

事務局：市民協働課 課長（佐藤）、係長（松丸）

傍聴人：なし

4. 欠席者：なし

5. 議事内容

（1）男女共同参画標語の受賞作品審査について

事務局より各委員が実施した二次審査の結果と、本日は第三次審査で最優秀賞1点、優秀賞4点と入賞作を選定することを説明【当日資料（第三次審査用）を使用】

会長：取手らしい作品という観点ですと、例えば「取手」という地名が入っているケースが多い。前回の最優秀賞も「取手」という地名が入っています。今回の審査ではみなさんどのように考えますか？ また選定についての各自の意見をおしえてください。

委員：「取手」という言葉が入っている作品も一つの考え方。取手のことを考えて作ったということがよく分かります。「取手」という単語が入っていても入ってなくても、全体の作品と作者のコメントなどを見ていると様々な思いがあることが分かります。作者コメントや各委員の選考理由を参考に選んでいけばよいと思います。

委員：キーワードとして、「輝く」、「男女共同」、「認め合う」など各作品で重なる言葉が多々ありました。それを審査から排除してしまうと最終的な選定作品が数少なくなってしまうと思います。また私は、作品全体の流れや内容として伝わるものを選定しましたので、「取手」というキーワードが入っているから選定するという意識はしていません。

委員：私は、逆に「取手」という言葉を重視して選定しました。あとは個性的であってインパクトがある作品を選定しました。

委員：私は、それぞれの個性・パーソナリティについて描かれていることと、やはり取手は私達の故郷なので、「取手」と「我がまち」という言葉が入っていることをポイントに選定しまし

た。

委員：他の委員のみなさんと同じように、事務局から資料として提示された今までの受賞作品の中に入っている言葉が入っている作品を全部選定から省くということにはせずに、標語として一つ一つの作品がきちんと伝わるかどうかということを重点として選定しました。今までの受賞作と重なる言葉があっても、標語として伝わるものがある作品であれば選定してかまわないと思います。

委員：今回は第四次計画策定を記念して標語を募集しました。計画の基本的な考え方である「多様な生き方を認め合い、誰もが自分らしく輝けるまち取手を目指して」というニュアンスが入っている作品を選定しました。選定した理由は記載したとおりです。

会長：それでは、二次審査で最も点数の高かった（点数4点）作品 No163「それぞれの個性が活きる わが取手」を最優秀賞にするということによろしいでしょうか？

委員全員：異議なし

会長：続きまして、優秀賞4名の選定をしたいと思います。二次審査で最優秀賞の次に点数の高かった作品は点数3点の作品が2作品、点数2点の作品が7作品あります。いかがいたしましょうか？ご推薦をお願いします。

会長：まず先に、二次審査の点数が3点と高かった2作品、No19「多様性 自分の個性 輝かせ」とNo89「お互いが 社会の大事な パートナー」を優秀賞ということによろしいでしょうか？

委員全員：異議なし

委員：私はNo3「支え合う 一人一人が 違うから」を優秀賞に推薦します。お互いに支え合い、共に歩んでいくということと、それぞれが違うパーソナリティを尊重し合っていくということが表現されています。

委員：私はNo164「子育ては 未来に続く 夢仕事」を推薦します。厳密に言うと男女共同参画をずばり表現しているものではないような気もしますが、子育てがとても大変なことというイメージでメディアなどで取り上げられている現状で、「子育て」は「夢仕事」だという概念を大事にしてほしいと思います。

委員：No19「多様性 自分の個性 輝かせ」が得点3点で優秀賞にと先ほど決まりましたが、最優秀賞作品内にも「個性」という言葉があります。みなさんの意見をお聞かせください。

会 長：では、最優秀賞と優秀賞に重なる言葉があることについて、意見をお願いいたします。最初の論点で言葉が重なってしまうことは仕方がないという意見でしたので、私自信は致し方ないことだと思います。

委 員：難しい問題ですね。No136「取手には 個性輝く 笑顔達」という作品には、「取手」も「個性」も入っています。

委 員：これだけたくさんの作品があると、言葉はたくさん使われています。考えた人にとっては、自分の考えを表現するためにその言葉を選んだということなので、受賞作に同じ言葉が重なってしまってもいいと思います。出来るだけ作者の意思を尊重しましょう。また、委員のみなさんが審査の際に良いと思って選んだものですので、言葉が重なっていても受賞作として選定していいと思います。

委 員：私もそう思います。

会 長：では、受賞作で同じ言葉が重なってしまうことは致し方ないということによろしいでしょうか？

委員全員：異議なし

会 長：では、まとめますと、二次審査の点数が3点と高かった2作品、No19「多様性 自分の個性 輝かせ」とNo89「お互いが 社会の大事な パートナー」を優秀賞にします。残り優秀賞2作品について、No3「支え合う 一人一人が 違うから」とNo164「子育ては 未来に続く 夢仕事」が推薦されましたが、いかがでしょうか？

委 員：No56「みとめよう 自分らしさと あなたらしさ」も捨てがたい作品。お互いを認め合う視点は大事なかなと思います。

委 員：三次選考に残った作品は21作品です。入賞者への予算は50名で積算しているということですので、優秀作品を5作品にしてはいかがでしょうか。

会 長：事務局はいかがでしょうか。

事務局：事前の広報では優秀賞4作品と発表していますが、予算内に収まりますし、良い作品がたくさんあったという理由で5作品にしても問題はありません。

会 長：では、まとめます。

最優秀作品は、No163「それぞれの 個性が活きる わが取手」

優秀作品は5点

No19「多様性 自分の個性 輝かせ」

No89「お互いが 社会の大事な パートナー」

No3「支え合う 一人一人が 違うから」

No164「子育ては 未来に続く 夢仕事」

No56「みとめよう 自分らしさと あなたらしさ」となります。よろしいでしょうか？

委員全員：異議なし

事務局：入賞作商品は予算では50名分積算しています。三次選考に残った作品は21作品。最優秀賞1作品と優秀賞5作品を除き、残り15作品が入賞作とさせていただきます。残り15作品に表現方法などで問題はありませんか？

会長：お気づきの方いらっしゃいますか？

委員全員：意見なし

会長：どなたもいらっしゃらないようですので、残りの作品を入賞作にお願いいたします。では、ただいまの審査によって決定した受賞作品は、事務局で市長決裁を受けたうえで公表、表彰をお願いいたします。

(2)第四次計画の進捗状況報告書の検討について

事務局：第四次計画の進捗状況報告書案を説明。前回の審議会で意見をいただき追加した部分（「評価不能」を追加など）について説明。【資料②を使用】

会長：コロナ禍で実施できなかった事業を評価するのはいかなるものかという意見が前回の審議会で出ましたので、修正案として「評価不能」という項目が出来ました。みなさんのご意見お願いいたします。

委員：適切だと思います。それ以外についても、長年に渡り進捗状況報告を続けてきたおかげでそれぞれの課において意識が芽生えていると思います。それぞれの課の評価についてはそれほどずれていることはないのでは。ただし、審議会の役割としては、報告を受けるだけでなく、報告の中身について聞きたいことを確認することは必要だと思いますので、前回の審議会でその点について意見を述べました。

委員：私も報告書に「評価不能」を追加したのは適切だと思います。また、「担当者一人の判

断ではなく、課内で話し合い、検討した上で評価してください」という説明を追加したということは、今まで担当者1人で判断していたところもあるということなのではないでしょうか？

事務局：課内全体の評価として上司の決裁を経て報告するのが通常ですが、複数の目で・課全体で評価することをあえて記載します。

委員：評価の物差しの基準が前回より明確になったので良いと思います。そして、一部の人で判断しない進捗状況になるのではないのでしょうか。

委員：私も「評価不能」項目を追加したのは適切だと思います。

委員：D評価の部分で「実施が困難な状況にある」とありますが、この表現が新規追加した「評価不能」と重なり、判断基準が分かりにくいかと思います。例えば、D評価の部分は「ほぼ実施できなかった」などにした方がよいのかと思います。また、「判断不能」の説明部分も、「コロナ禍により」と限定していますが、「不可抗力により」や「実施が困難な状況にあった等により」評価できないと表現をふくらました方がよいのでは。

会長：現状はコロナ禍ですが、大地震などを想定した「大規模災害等」といった表現も提案いたします。皆さまいかがでしょうか。

委員全員：異議なし

委員：会長が提案した表現を入れることはよいと思います。ただ、「評価不能」とした場合は、理由を明記していただきたい。なんで出来なかったんだろうということがわかる一言を簡単にいいので添えてほしい。

会長：追加の説明があればわかりやすいですね。他にご意見はありますか？

委員全員：意見なし

会長：ありがとうございます。事務局で本日の意見を評価案に反映願います。それでは本日の審議会は終了となります。

(5) 事務局より連絡

事務局：本日審査していただいた標語受賞作は市長決裁後、受賞者、学校等に連絡の上、公表します。また、11月13日の女と男ともに輝くとりでの集いにて表彰式を行います、審議会会長には表彰式で講評をいただきたいと思います。本年度の審議会は本日で終了となります。次年度は8月から9月に実施予定です。またご連絡させていただきます。お疲れ様でした。

(その他 前回審議会の会議録の確定の確認。令和4年度市男性職員の8月現在の育休取得率を説明。)